

議 事 日 程 第 2 1 号

令 和 7 年 1 2 月 1 0 日 （ 水 ） 午 前 1 0 時 開 議

第 1 一 般 質 問

一 般 質 問 (12月10日)

1 白井 亮次 議員 (自由民主党)

GREEN×EXPO 2027、新たな中期計画、ネーミングライツ、サイバー攻撃への対応、屋外の喫煙対策、若者への住宅政策、RSウイルスワクチン定期接種、幼稚園の通園バス、ヤングケアラー支援、青少年指導員活動の充実、市立学校における睡眠教育、横浜の部活動、災害時の協定締結機関等の連携強化、防災分野の海外展開、地域防災拠点におけるペット防災、災害時のトイレ対策、公園緑地の維持管理、横浜国際プールの周辺地域の魅力向上、農業支援、身寄りのない高齢者等への支援、介護施設等における認知症ケア、地域へのデジタルツールの普及、高速鉄道3号線の延伸、渋滞削減に向けた取組、自転車施策、消防団の組織力のさらなる強化、横浜消防のブランド力向上、港湾施設の保全に向けた新技術活用の推進

2 久保 和弘 議員 (公明党)

新たな中期計画、下水道による浸水対策、フェーズフリーの視点を取り入れたまちづくり、災害時要援護者の個別避難計画、地域防災拠点、公共施設への太陽光発電設備の設置拡大、市営住宅の高齢化対策、市営住宅駐車場の有効活用、特別養護老人ホームの入所に向けた支援、認知症医療体制の充実、身寄りのない高齢者等への支援、地域療育センター、児童虐待対応を担う児童心理司の人材育成、不登校支援、RSウイルスワクチンの定期接種、自殺対策、軟骨伝導イヤホンの活用、手話リンクの導入、動物園への寄附の裾野を広げる取組、防犯対策の強化、GREEN×EXPO 2027の輸送アクセス、上瀬谷のまちづくり、瀬谷駅周辺のまちづくり、地球規模の課題解決に向けた若い世代の声の反映、核兵器廃絶

3 越久田 記子 議員 (立憲民主党)

新たな中期計画、動物関連施策の推進、個人版ふるさと納税、次世代起業人材育成と身近な社会課題解決を目指すスタートアップの支援、市民力を生かした地域課題・社会課題の解決、横浜市立大学との連携の取組、プラスチック資源の中間処理施設での火災対策、教職員の働き方改革とカスタマーハラスメント対策、市職員へのカスタマーハラスメント対策、市営バスのカスタマーハラスメント対策、市民レベルの国際交流、女性の健康とプレコンセプションケア、子育て支援施策、動物園における循環型社会に向けた取組、こどもの学びと農、GREEN×EXPO 2027の機会を捉えた緑の取組の発信、GREEN×EXPO 2027を契機としたまちづくり、ミュージックシティ構想、山下ふ頭再開発、大さん橋国際客船ターミナルの魅力向上、横浜ならではのナイトタイムエコノミーを生かした水際線の活性化

4 伊藤 くみこ 議員 (日本維新の会・無所属の会)

D24H (災害時保健医療福祉活動支援システム)、医療的ケア児・者に対する災害対策、病気や障がいのあるお子さんのきょうだいへの支援、猛暑における子どもたちの遊び場対策、地域図書館リノベーションにおける子どもの空間

5 横溝 じゅん子 議員（国民民主党・無所属の会）

新たな中期計画、大都市制度改革、TECH HUB YOKOHAMA、障害者スポーツの振興、こどもホスピスへの取組支援、放課後児童クラブへの支援、プレイパークへの支援、市立学校におけるICTの活用状況、こどもの文化体験機会の創出

6 みわ 智恵美 議員（日本共産党）

新たな中期計画素案、市民の命と健康を守る医療環境改善の取組、学校給食の無償化、2027年国際園芸博覧会の認定サプライヤーにGL events Japan株式会社が認定されていること、山下ふ頭再開発のあり方、非核三原則の堅持

7 川口 広 議員（自由民主党）

GREEN×EXPO 2027の自転車・徒歩来場への対応、GREEN×EXPO 2027開催後の農業振興地区、リビングラボの推進と拡充、フィルムコミッション事業、マイナーコンテンツ（B面）を活用した賑わいづくり、ペットの飼い主コミュニティ形成、睡眠関連産業の振興、行政におけるAI活用、AI時代における読書活動推進の意義

8 長谷川 えつこ（長谷川えつこ）＜8分＞

義務教育年齢にある外国人児童の不就学の実態把握と次世代の育成、デジタル時代における子どもたちの成長を支えるICT教育、AI活用による市民サービスの向上の実現

＜ ＞は質問申告時間